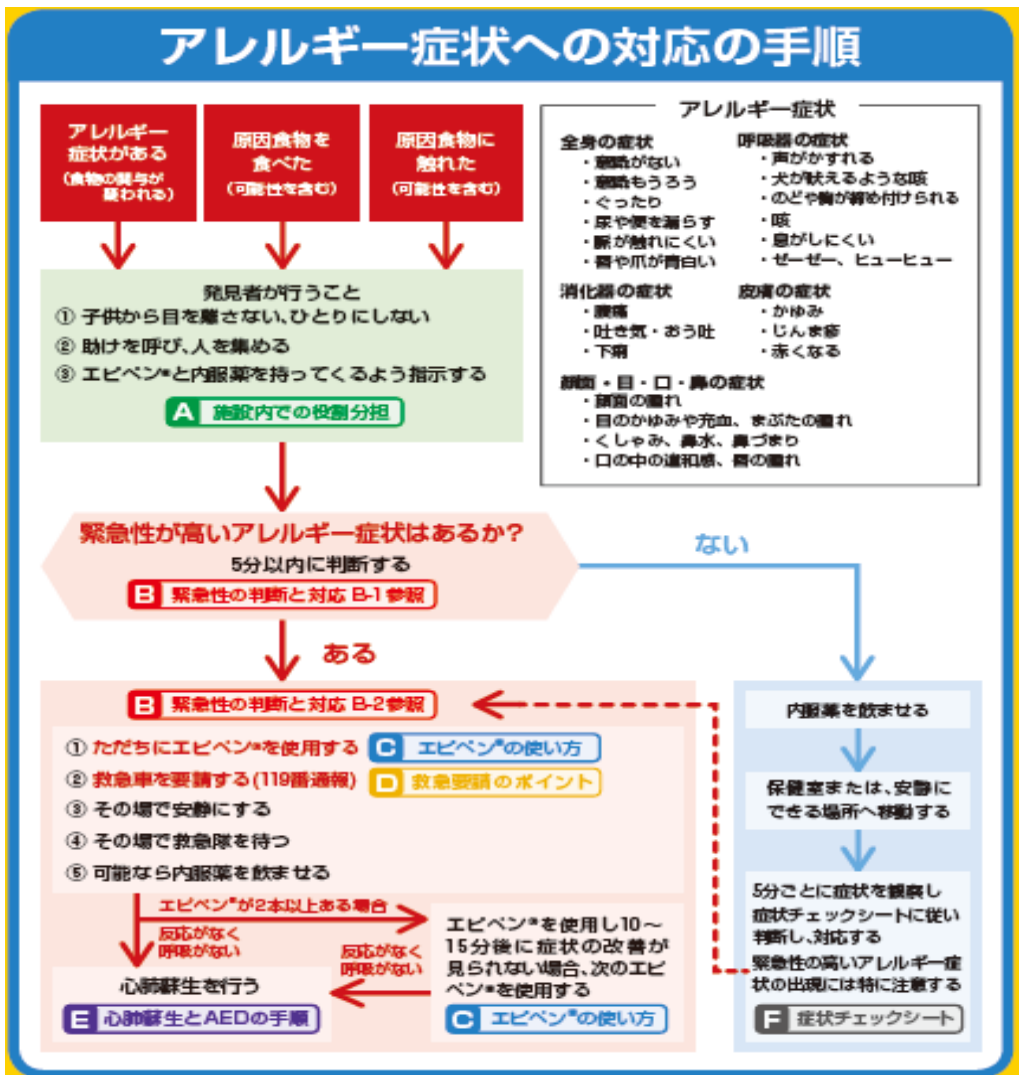


**危機の状況 食物アレルギーによるアナフィラキシーショックが発生した場合**

**1 危機対応の方向性**

- 異変がある児童を発見したら、一人にせず、応援を呼ぶ。
- 緊急度を **5分以内** に判断する。
- 緊急度に応じ、適切に対応する。

**2 危機対応の具体**

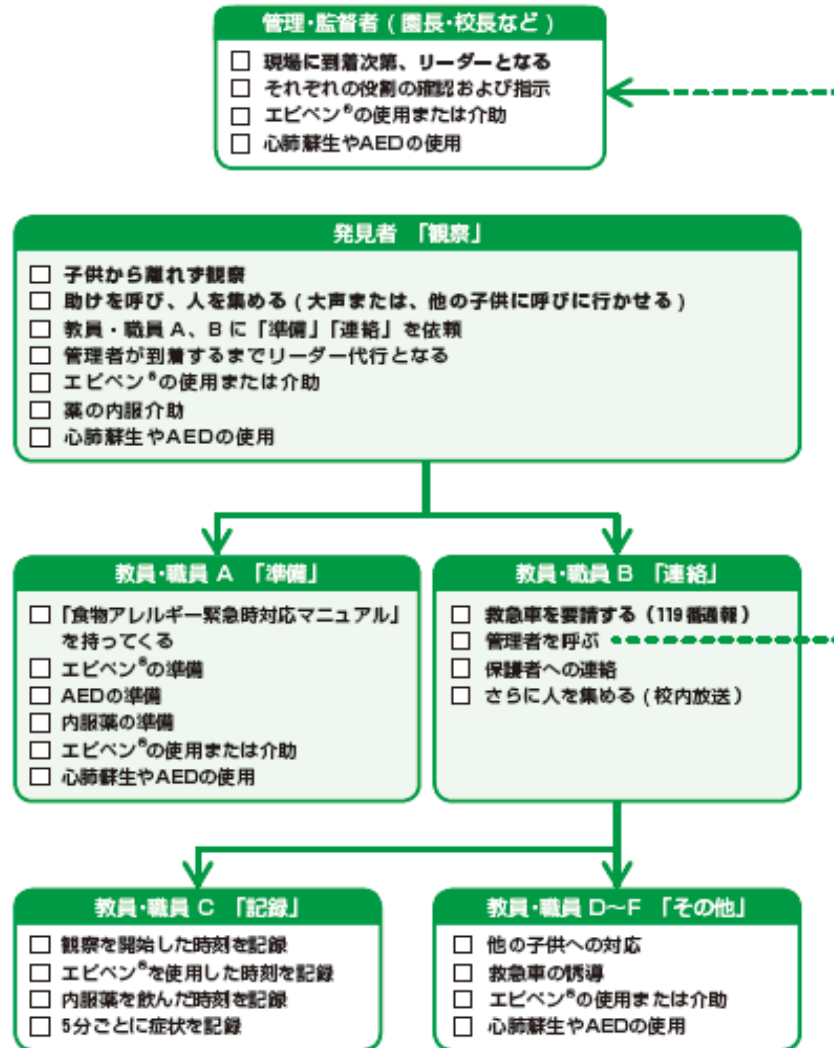


**3 予想させる危機の状況**

- ・食物アレルギーの原因物質を食べた・触れたことにより、アレルギー症状を起こした。
- ・皮膚のかゆみや口腔内違和感など軽度な症状では収まらず、意識の低下(全身症状)呼吸困難・喘鳴(呼吸器症状)腹痛・嘔吐・下痢(消化器症状)目や唇の腫れ(粘膜症状)などに進行した。  
【起こしたくない最悪の事態】
- ・緊急度の高い、全身症状・呼吸器症状を伴うアナフィラキシーショックを発症した。
- ・アナフィラキシーショック発症後に、速やかにエピペンを注射せず、症状が悪化する。

## A 施設内での役割分担

◆各々の役割分担を確認し事前にシミュレーションを行う



## B 緊急性の判断と対応

◆アレルギー症状があったら5分以内に判断する！

◆迷ったらエピペン®を打つ！ ただちに119番通報をする！

### B-1 緊急性が高いアレルギー症状

【全身の症状】	【呼吸器の症状】	【消化器の症状】
<input type="checkbox"/> ぐったり	<input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる	<input type="checkbox"/> 持続する強い（がまんできない）お腹の痛み
<input type="checkbox"/> 意識もうろう	<input type="checkbox"/> 声がかすれる	<input type="checkbox"/> 繰り返して吐き続ける
<input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす	<input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳	
<input type="checkbox"/> 脈が触れにくいまたは不規則	<input type="checkbox"/> 息がしにくい	
<input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	<input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み	
	<input type="checkbox"/> ゼーゼーする呼吸	

（ぜん息発作と区別できない場合を含む）

1つでもあてはまる場合

ない場合

### B-2 緊急性が高いアレルギー症状への対応

① ただちにエピペン®を使用する！

⇒ **C** エピペン®の使い方

② 救急車を要請する（119番通報）

⇒ **D** 救急要請のポイント

③ その場で安静にする（下記の体位を参照）

立たせたり、歩かせたりしない！

④ その場で救急隊を待つ

⑤ 可能なら内服薬を飲ませる

◆ エピペン®を使用し10～15分後に症状の改善が見られない場合は、次のエピペン®を使用する（2本以上ある場合）

◆ 反応がなく、呼吸がなければ心肺蘇生を行う ⇒ **E** 心肺蘇生とAEDの手順

内服薬を飲ませる

↓  
保護室または、安静にできる場所へ移動する

↓  
5分ごとに症状を観察し症状チェックシートに記入し、対応する緊急性の高いアレルギー症状の出現には特に注意する

**F** 症状チェックシート

### 安静を保つ体位

ぐったり、意識もうろうの場合



血圧が低下している可能性があるため脚向けで足を15～30cm高くする

吐き気、おう吐がある場合



おう吐物による窒息を防ぐため、体と顔を横に向ける

呼吸が苦しく仰向けになれない場合



呼吸を楽にするため、上半身を起こし後ろに寄りかからせる

# C

## エピペン<sup>®</sup>の使い方

◆それぞれの動作を声に出し、確認しながら行う

### ① ケースから取り出す



ケースのカバーキャップを開け  
エピペン<sup>®</sup>を取り出す

### ② しっかり握る



オレンジ色のニードルカバーを  
下に向け、利き手で持つ

**“ズー”**で握る!

### ③ 安全キャップを外す



青い安全キャップを外す

### ④ 太ももに注射する



太ももの外側に、エピペン<sup>®</sup>の先端  
(オレンジ色の部分)を軽くあて、  
“カチッ”と音がするまで強く押し  
あてそのまま5つ数える

**注射した後すぐに抜かない!  
押しつけたまま5つ数える!**

### ⑤ 確認する



使用前 使用后

エピペン<sup>®</sup>を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する

**伸びていない場合は「④に戻る」**

### ⑥ マッサージする



打った部位を10秒間、  
マッサージする

### 介助者がいる場合



介助者は、子供の太ももの付け根と膝を  
しっかり抑え、動かないように固定する

### 注射する部位

- ・衣類の上から、打つことができる
- ・太ももの付け根と膝の中央部で、かつ真ん中 (A) よりやや外側に注射する

#### 仰向けの場合



#### 座位の場合



# D

## 救急要請 (119番通報) のポイント

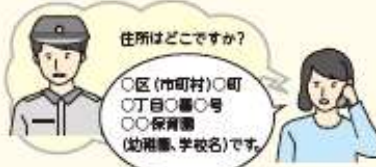
◆あわてず、ゆっくり、正確に情報を伝える



### ① 救急であることを伝える



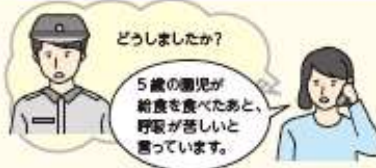
### ② 救急車に来てほしい住所を伝える



住所、施設名をあらかじめ記載しておく

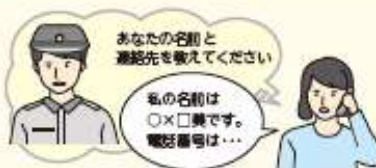
### ③ 「いつ、だれが、どうして、現在どのような状態なのか」をわかる範囲で伝える

**エピペン<sup>®</sup>の処方やエピペン<sup>®</sup>の使用の有無を伝える**



### ④ 通報している人の氏名と連絡先を伝える

**119番通報後も連絡可能な電話番号を伝える**



※向かっている救急隊から、その後の状態確認等のため電話がかかってくることもある

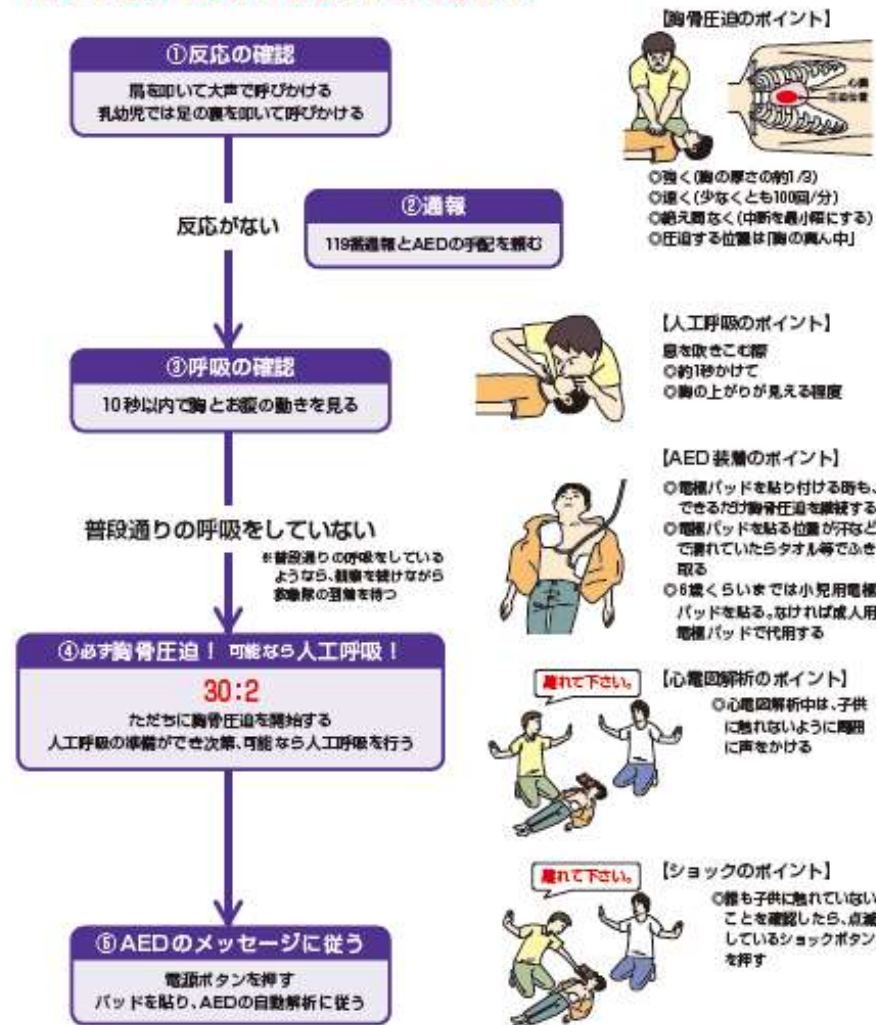
- ・通報時に伝えた連絡先の電話は、常につながるようにしておく
- ・その際、救急隊が到着するまでの応急手当の方法などを必要に応じて聞く



# E

## 心肺蘇生とAEDの手順

- ◆強く、速く、絶え間ない胸骨圧迫を!
- ◆救急隊に引き継ぐまで、または子供に普段通りの呼吸や目的のある仕草が認められるまで心肺蘇生を続ける



# F

## 症状チェックシート

- ◆症状は急激に変化することがあるため、5分ごとに、注意深く症状を観察する
- ◆の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する  
(内服薬を飲んだ後にエピペン®を使用しても問題ない)

観察を開始した時刻( 時 分) 内服した時刻( 時 分) エピペン®を使用した時刻( 時 分)

全身の症状	<input type="checkbox"/> ぐったり <input type="checkbox"/> 意識もうろう <input type="checkbox"/> 尿や便を漏らす <input type="checkbox"/> 顔が触れにくいまたは不規則 <input type="checkbox"/> 唇や爪が青白い	
呼吸器の症状	<input type="checkbox"/> のどや胸が締め付けられる <input type="checkbox"/> 声がかすれる <input type="checkbox"/> 犬が吠えるような咳 <input type="checkbox"/> 息がしにくい <input type="checkbox"/> 持続する強い咳き込み <input type="checkbox"/> せーせーする呼吸	<input type="checkbox"/> 数回の軽い咳
消化器の症状	<input type="checkbox"/> 持続する強い(かまんできない)お腹の痛み <input type="checkbox"/> 繰り返して吐き続ける	<input type="checkbox"/> 中等度のお腹の痛み <input type="checkbox"/> 1~2回のおう吐 <input type="checkbox"/> 1~2回の下痢
目・口・鼻・顔面の症状		<input type="checkbox"/> 軽いお腹の痛み(がまんできる) <input type="checkbox"/> 吐き気
皮膚の症状	<input type="checkbox"/> 強いかゆみ <input type="checkbox"/> 全身に広がるじんま疹 <input type="checkbox"/> 全身が真っ赤	<input type="checkbox"/> 顔全体の腫れ <input type="checkbox"/> まぶたの腫れ
上記の症状が1つでもあてはまる場合		<input type="checkbox"/> 目のかゆみ、充血 <input type="checkbox"/> 口の中の違和感、唇の腫れ <input type="checkbox"/> くしゃみ、鼻水、鼻づまり
		<input type="checkbox"/> 軽度のかゆみ <input type="checkbox"/> 数個のじんま疹 <input type="checkbox"/> 部分的な赤み
		1つでもあてはまる場合
		1つでもあてはまる場合

**①ただちにエピペン®を使用する**  
**②救急車を要請する(119番通報)**  
**③その場で安静を保つ**  
 (立たせたり、歩かせたりしない)  
**④その場で救急隊を待つ**  
**⑤可能なら内服薬を飲ませる**

**B 緊急性の判断と対応 B-2参照**

**ただちに救急車で医療機関へ搬送**

**①内服薬を飲ませ、エピペン®を準備する**  
**②速やかに医療機関を受診する**  
 (救急車の要請も考慮)  
**③医療機関に到着するまで、5分ごとに症状の変化を観察し、の症状が1つでもあてはまる場合、エピペン®を使用する**

**速やかに医療機関を受診**

**①内服薬を飲ませる**  
**②少なくとも1時間は5分ごとに症状の変化を観察し、症状の改善がみられない場合は医療機関を受診する**

**安静にし、注意深く経過観察**